

市民自治講座のご案内

【開催趣旨】

経済的価値観への一元化、人口の減少と少子高齢化、都市及び中山間地域の衰退、ポピュリズムの勃興、ナショナルなものへの偏愛及び非寛容の精神が跋扈するなど、危機は今そこに遍在しています。

私たちはこれらの動きを、自治と民主主義の危機ととらえ、そのような時代潮流に抗して市民の自立と自律、自主と自治、共感と共生（連帯）を回復していく必要があると思います。このためには、市民が小さな空間を足がかりに、そこからコミュニティや都市を再生していくを通して、深刻化する社会の問題に立ち向かっていくほかありません。その基礎には市民が自治の哲学をつくりあげていく必要があります。

今回企画した「市民自治講座」は、これまでに蓄積されてきた人類の知恵から学ぶとともに、熟議を通して、新しい市民自治の姿を思い浮かべ、地域にねざした市民社会のつくり方を学び、市民の手で明日の自治をともに築いていくことをめざします。

第1期 民主主義再考：原理的に考える（全3回）

講師 岡本 仁宏 氏 関西学院大学法学部教授（政治哲学・市民社会論）

講師よりのメッセージ：

民主主義（デモクラシー＝民衆支配）という政治原理は、強い力を持っている。しかし、いろいろな「民主主義」があり、本当の民主主義がどれなのかよく見えない。さらに、民主主義は、愚民政治、人民投票の独裁、決められない政治、少数者の自由や権利の抑圧、金権支配、政治的無関心、大衆運動による暴力的クーデタと表裏一体でもある。

民主主義の価値と方法とについて根源的に考えるために、自由・平等、ナショナリズム、市民社会について考えていきたい。地方自治や代議制民主主義、熟議民主主義など様々な制度的議論が行われているが、今回は、その背景にある基本的視点を確認することを主たるテーマとして考えたい。

日程とテーマ（内容概略は裏面参照）

2016年（平成28年）

いずれも 13:30～

- | | | |
|-----|----------|-------------------|
| 第1回 | 3月26日（土） | 自由と平等から民主主義を考える |
| 第2回 | 4月30日（土） | ナショナリズムから民主主義を考える |
| 第3回 | 5月28日（土） | 市民社会から民主主義を考える |



時間：13:30～16:00（全日程とも同じです）

会場：CANVAS 谷町（大阪市中央区谷町2丁目） 地下鉄谷町線天満橋・谷町4丁目徒歩5分

地図はこちらをご覧ください。 <http://www.osakavol.org/10/access/index.html>

参加費：3回分3,000円（1回のみ参加：1,000円） 当日（初回）支払。

問合・申込：特定非営利活動法人NPO政策研究所 npa@post.email.ne.jp

記載事項 ⇒ お名前、ご所属、連絡先、参加回（例：すべて、第〇回）

主催：市民自治講座実行委員会（NPO政策研究所、大阪市政調査会で構成）

お願い：なるべく3回連続してのご参加をお願いします（単発の参加も可能です）。

裏面の参考図書を読んできていただきますと、ご理解がさらに進むと思われます。

第1回（3月26日（土） 13:30～）

■自由と平等から民主主義を考える

我々は、生まれながらに自由かつ平等であるだろうか。かつ自由で平等であるべきであろうか。思考ゲームとして、アリストテレスの奴隷制論やジョン・ロックの論敵であったロバート・フィルマーの家父長制論を参考にして、奴隷制の正当化や制限選挙制度の正当化の議論を提示しよう。参加者はそれに対してどこまでどのように反論できるだろうか。この議論を参考にして、平等とは何の平等なのか。自由とはいったい何の自由なのかを考えたい。

第2回（4月30日（土） 13:30～）

■■ナショナリズムから民主主義を考える

近代国家は、国民に自由と平等を保障する最大のメカニズムである。しかし、同時にナショナリズムや愛国主義（パトリオティズム）は、自由と平等を破壊する重要なイデオロギーでもある。そもそも、「国民」やナショナリズムや愛国主義とは何でどのような射程範囲を持つものなのか、その意味は何なのかを、考えたい。

第3回（5月28日（土） 13:30～）

■■■市民社会から民主主義を考える

そもそもボランティアは必要なのだろうか、それは我々の社会において暇で余裕のある人ができる余技に過ぎないのだろうか。実は、市民社会（civil society）の観念は、人類が生み出してきた貴重な思想的遺産であって、国家の公共性と市場の貨幣的価値、あるいは暴力と金の力の支配に対抗して、どのように別の生き方の原理と拠点を構想するかに対する手掛かりを与えている。その意味を考えよう。

会場はすべて「CANVAS 谷町」(大阪府中央区谷町2丁目) 地下鉄谷町線天満橋・谷町4丁目徒歩5分)

■参考図書（講師推薦）

アリストテレス、牛田徳子訳『政治学』京都大学出版会、2001年(岩波文庫版もあります:事務局注)

ジョン・ロック、加藤節訳『市民政府二論』岩波文庫、2010年

アーネスト・ゲルナー、加藤節監訳『民族とナショナリズム』岩波書店、2000年

プラトン、三嶋輝夫・田中享英訳『ソクラテスの弁明・クリトン』講談社学術文庫、1998

ユルゲン・ハーバーマス、細谷貞雄・山田正行訳『公共性の構造転換市民社会の一カテゴリーについての探究』未来社; 第2版、1994年

ロバート・パットナム、柴内康文訳『孤独なボウリングー米国コミュニティの崩壊と再生』柏書房、2006年

■参考論文（講師岡本仁宏氏執筆のもの）

「『国民』を疑う」『年報政治学:政治における忠誠と倫理の理念化』2011(1)、木鐸社、2011年

「パトリオティズム」古賀敬太編『政治概念の歴史的展開—概念史から見た政治思想史第3巻』晃洋書房、2009年

「国民」古賀敬太編『政治概念の歴史的展開—概念史から見た政治思想史第2巻』晃洋書房、2007年

「市民社会」古賀敬太編『政治概念の歴史的展開—概念史から見た政治思想史第1巻』晃洋書房、2004年

「市民社会、ボランティア、政府」立木茂雄編『ボランティアと市民社会 増補版:公共性は市民が紡ぎ出す』晃洋書房、1997年初版、2001年増補版